まつぶし議会だより

第135号
令和８年10月28日発行



まつぶしっ子

９月定例会

〈主な内容〉

○令和7年度決算 …… 2～5P
○議案審議・補正予算 …… 5～6P
○意見書・議案の採決、委員会報告 …… 7～8P
○9人の議員が町政を問う …… 9～13P

議会だよりがスマートフォンでも読めます

UD FONT

みんなの笑顔を未来へつなぐ

令和７年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額120億2,546万591円、歳出総額111億9,415万2,704円過去２番目に大きな決算額となりました。歳入歳出差引残高は８億3,130万7,887円、実質収支額は５億9,001万５,000円となりました。

活発な質疑が行われ、認定しました。

1. 子育て・教育

●校内教育支援センター支援員報酬 588万3,930円
●語学指導助手業務委託料 1,636万８,000円
●学校給食費補助金 211万193円
●ファミリーサポートセンター事業委託料 290万5,716円


ファミリーサポートセンター

問 校内教育支援センター支援員は、令和６年度に松伏小学校に試験的に設置したスペシャルサポートルームを令和７年度には金杉小学校及び松伏第二小学校にも設置した。成果を問う。

答 通常教室では、自己表現が苦手だった児童が、自分の思いを表現できるようになったり、表情が明るくなった。学校内での新しい居場所ができたことにより、欠席児童が令和６年度より1.5％減少した。

問 ファミリーサポートセンター事業は、令和６年度に比べると、約２倍に近い活動件数となっている。理由と成果を問う。

答 活動件数は、令和６年度573回、令和７年度1,153回。学校や保育所、幼稚園、学童クラブ、習い事などへの送迎が、令和６年度の474回から令和７年度1,030回へと556回増えたことが活動件数の増加に大きく影響した。

2. 健康・福祉・社会保障

●相談支援事業委託料 1,006万1,040円
●福祉タクシー券利用料 76万8,000円
●予防接種委託料 6,376万785円
●アピアランスケア支援補助金 ７万7,847円
●各健診出務報償（3歳4か月児健診の屈折検査） 95万500円



福祉タクシー

問 福祉タクシー券18枚では足りないとの声がある。また、近隣ではガソリン券の仕組みもあり、要望がある。課題とならなかったのか問う。

答 近隣では大体28枚から36枚程度交付していると把握している。また、ガソリン券の補助についても、県内の多くの自治体が導入していることは把握している。引き続き利便性の向上を図っていきたい。

問 帯状疱疹ワクチン予防接種への対応は。

答 対象者1,772人にハガキで通知した。接種完了は394人（22.2%）であった。

問 アピアランスケア支援補助金の申請件数。男女別の人数、実際の購入額を問う。

答 申請件数８件（男性１名、女性７名）実際の購入額は、最低額が7,847円、最高額が27万2,800円、購入品目は全てウィッグ。

問 ３歳４か月児健診で実施した屈折検査の検査結果を問う。

答 健診受診者全てに実施し、異常が疑われた方には、その場で医師による紹介状を発行した。精密検査の案内をして、全員が受診した。

緑あふれるまち まつぶし

令和７年度
決　算

認定

令和７年度　一般会計歳出合計
111億９,415万２,704円

3.　人権・地域コミュニティ・スポーツ・芸術・文化

●自治会等振興補助金　363万8,000円
●北部サービスセンター費　3,896万3,955円
●文化振興運営事業補助金　600万円


ゆめみ野集会所

問　自治会加入者の減少が続く中、補助金の効果をどのように評価しているか。

答　地域コミュニティの醸成を図り、住民の自主的かつ主体的な自治会活動の支援を目的に、自治会運営事業補助金として176万2,000円、自治会活動魅力アップ事業補助金として187万6,000円を支出。効果については、令和７年度から自治会運営事業補助金の世帯単価を200円から250円に増額して、自治会活動の継続や負担軽減につながっていると考える。

4.　産業振興

●有機転換推進事業費補助金　77万8,000円
●ふるさと納税御礼品取扱業務委託料　216万158円
●農業基盤整備工事費　1,429万100円


田島地区水路平場
コンクリート打ち工事

問　農業基盤整備工事の成果と課題を問う。

答　令和７年度は、魚沼地内の用水路改修工事、魚沼地区の農道整備工事、田島地区の水路平場コンクリート打ち工事、水路の陥没や構造物の破損などの修繕工事により耕作地への通水問題が解消され、安定した営農に寄与したものと認識している。

5.　生活基盤整備

●道路修繕工事費　3,536万9,400円
●橋りょう補修工事費　997万1,500円
●雑草刈払業務委託料　290万円
●公園費　9,140万7,464円


雑草の刈払

問　橋りょう補修工事の内容と成果を問う。

答　八間堀悪水路にかかる２－33号橋（赤岩橋西側）。コンクリート製の橋で建設後60年以上経過したもの。令和３年度の定期点検において、健全度の判定が早期措置段階と診断されたことにより、令和５年度に補修設計を行い、令和６年度に工事に着手、令和７年度に完成した。

問　雑草の繁茂期に合わせた適切なタイミングで実施されたのか。コスト削減に向けた中長期的な対策の検討を問う。

答　年２回、堤防除草のタイミングで実施しているが、通学路区間は２学期開始の直前に実施している。隣接市との協議により、施工業者、施工時期を合わせることによるコストダウンも考えられる。

6. 生活環境・安全・安心・防災整備

●緊急時通報システム業務委託料　132万4,240円
●避難行動要支援者名簿システム使用料　60万8,300円
●バス停留所上屋設置工事費　1,003万2,000円
●衛星系防災行政無線施設再整備事業負担金　980万1,000円
●吉川松伏消防組合負担金（常備）　5億6,590万2,000円


バス停留所上屋

問　緊急時通報システム業務委託の成果、通報件数と内容を問う。

答　令和７年度末の設置状況は、固定型が88台、携帯型が３台。通報件数は年間47件。通報内容は、自宅での転倒など救急搬送につながった事例が複数あった。

問　避難行動要支援者名簿対象者と更新状況

答　要介護３以上、身体障がい者手帳２級以上の方などを登録。新規登録181人、資格喪失116人。令和８年８月末現在の登録者数は1,206人。

問　バス停留所上屋設置工事が実施された経緯と内容について問う。

答　医療法人社団明日佳から生活利便性を高めるまちづくり事業を応援する目的として、令和６年度に、企業版ふるさと納税による寄附があった。埼玉あすか松伏病院付近に設置されている松伏消防署前のバス停留所を同病院前に移設する。利用者が雨や日差しを避け、快適にバスをお待ちいただけるよう、バス停留所の上屋及びベンチの設置工事を行った。

7. 行財政運営

●電子申請アプリ導入委託料　561万6,681円

問　スマホ町役場導入の効果、アプリの登録者数について数値を問う。

答　道路の通報機能など合わせて16の手続を実装。令和８年３月末現在約１万400人。スマホ町役場が始まる前の令和８年１月１日現在の登録者数は9,700人のため700人程度増えている。

【 一般会計に対する討論 】

賛成討論：未来クラブ

歳出では、子育て、教育、福祉、健康、防災、道路整備など、町民生活に密接に関わる事業が実施された。一方で、国や県の補助制度等を活用しながら、効果的な事務執行に努めることを求める。スポーツ施設の冷房設備、公園や農業基盤の維持管理など、将来的に見直すものを整理し、優先順位を明確にすることが、これからの行政運営には必要と考える。

賛成討論：自民無所属の会

衛星系防災行政無線の設備更新により、大雨などの悪天候時でも通信の安定性が向上し、災害状況や情報を伝達できるようになった。小・中学校のタブレット端末の更新については、AIドリルを活用しながら、情報機器に触れ、適切な利活用方法を学ぶことは非常に重要なことと認識している。

賛成討論：自民クラブ

令和7年度は、国の臨時交付金を活用して住民税非課税世帯等重点支援給付金や定額減税補足給付金、障がい者や高齢者施設等支援事業補助金、町独自で支給したまつぶし子育て応援給付金、物価高対応子育て応援手当など子育て全力の町の実現に向けて取り組まれたことについて評価する。

賛成討論：チェンジ松伏・無所属クラブ

まつぶし子育て応援給付金や物価高対応子育て応援手当、学校給食費の第1期・第2期の無償化、保健センターの移転建て替え、家庭用防犯カメラ設置費の補助、スマホ町役場の導入、道路の舗装修繕など、交通の安全性と生活利便性が図られた。しかし、時間外保育を含めた時間を町立第一保育所と同様に変更するよう民間保育園に指導すべきだ。

反対討論：日本共産党

福祉タクシー券の枚数や利用方法、ガソリン代補助の復活、高齢者タクシー・バス券の改善、アピアランスケア支援の拡充など、町民から要望の多い施策について、さらなる改善が必要。また、道路や水路の整備、樹木管理、東埼玉資源環境組合の分担金など、町民の負担や生活に直結する課題についても、十分な対応が求められる。

主な議案

人事

松伏町公平委員会委員の選任について

中川　由美子　（なかがわ　ゆみこ）

任期:令和8年10月1日から令和12年9月30日まで

公平委員会とは

地方公務員法に基づき、町職員の身分保障や公正な人事行政を確保するために設置されている行政委員会です。３名の委員で組織しています。

議案

松伏町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例

この条例は、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律及び地方公務員法の規定により、必要な事項を定めたもの。高度の専門的な知識経験を有する者（弁護士、公認会計士、大学の教員など）を特定任期付職員として、任期を定めて任用することができる制度。

採用期間は、5年を超えない範囲
特定任期付職員の給料月額　405,000円～655,000円
期末手当　6月期、12月期ともに0.9625月
勤勉手当　6月期、12月期ともに0.8875月

松伏町土地開発公社の解散について

町にとって必要な公共用地等の先行取得を行ってきた「松伏町土地開発公社（昭和49年3月5日設立）」の取得済みの用地を新保健センターの用地確保のため、町が買い戻した。現在は所有している土地等はない状況。今後、公共用地等の先行取得を行う見込みがないことから、議会の議決後、埼玉県知事の許可を受け解散となる。公社の残余財産については、諸手続きを経て、町に繰入される予定。

補正予算

令和８年９月定例会に提出された一般会計補正予算は**３億8,416万４千円**でした。慎重な審議の結果可決され、令和８年度松伏町一般会計予算総額は**106億2,215万3千円**となりました。

令和８年９月定例会 一般会計補正予算　主な審議内容

歳入 県支出金

ネイチャーポジティブ推進事業補助金



38万5千円

Q 町ではこの補助金を活用して、どのような事業を実施する計画か。

A この補助金は、自然環境の整備、特定外来生物の被害拡大への対応に対して、交付される。町ではクビアカツヤカミキリの被害により倒木の危険がある桜の木の事故防止のために、農村広場内の桜の木２本、松伏記念公園内の桜の木４本、田中第三公園内の桜の木１本を伐採する費用に充てる。

民生費

子育て世帯電動アシスト自転車購入費補助金



350万円

Q 事業の内容は。

A 子育てに伴う移動の利便性の向上を図るとともに、物価高騰の影響を受ける子育て世帯等の経済的負担軽減のために実施する。補助対象は未就学児の保護者の方と妊婦もしくはその配偶者の方。同一世帯１回限り、５万円を上限として、自転車本体の購入費の２分の１を予算の範囲内で、先着順に補助する。

衛生費

省エネ家電購入促進補助金



600万円

Q 事業内容をお聞きする。

A 補助対象機器はエアコン及び冷蔵庫の２品目。省エネ性能の要件として、省エネ性能評価マークの星３つ以上の製品であり、本年４月１日以降に購入、設置された未使用品を対象とする。補助率は２分の１、上限額は６万円、約100世帯への支援を見込んでいる。

消防費

防災行政無線子局設置工事



829万3千円

Q どこに設置するのか。また、追加設置する基準があるのか。

A 設置場所は、現在のところから約100メートル離れた浅間神社の敷地内に移設する。撤去工事費分は343万2,000円。移設・設置工事費分は486万1,000円となり、主な工事内容は子局鋼管柱の設置、設備機器の設置、操作プログラムの改修となる。防災行政無線の放送に影響がないように対応していく。

農林 水産業費

樹木剪定等業務委託料



93万3千円

Q 今回剪定を行う箇所、急ぎ予算を措置することとなった理由は。

A 北部サービスセンター前の農村広場に植樹されている桜の木２本を伐採する業務。今年の春頃、クビアカツヤカミキリによる被害木であることがわかり、倒木リスクを考慮し、利用者の安全対策のために急ぎ予算措置をすることになった。

土木費

道路改良工事費



322万5千円

Q 昨年度の同時期の補正額より金額が多くなっている特徴は。

A ゆめみ野東４丁目の松伏総合公園に隣接する松伏工業団地南側の道路から東埼玉道路一般部へアクセスする道路の舗装工事になる。東埼玉道路一般部の開通後、交通量が増加し、砂利敷き未舗装の道路の安全な通行を確保するため、アスファルト舗装工事を実施する。

教育費

学校教育システム改修業務委託料　92万7千円



Q 改修される具体的な機能、及び学校での指導や教員の事務作業効率化にどうつながるのか。

A 今回の改修は、令和８年４月１日に施行された民法の改正により離婚後も父母双方が親権を持つ共同親権を選択できる制度になったことに伴うもの。具体的な機能として、学齢簿異動や学齢簿照会画面への項目追加等及び各通知書への共同親権者印字対応等となる。改修中、学校教育への影響はありません。

意見書

（一部省略）※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

■「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書

可決

一．猛暑期の避難生活における衛生環境の改善とトイレ対策
一．災害関連死を防ぐための医療・福祉チームの早期・広域派遣
一．被災自治体への総合調整人材の派遣と受援体制の強化
一．ガソリン等緊急用燃油の安定・優先供給体制の確立
一．複合災害・二次災害防止に向けた監視・警戒体制の徹底

■中小企業・小規模事業者等に対する事業継続支援を求める意見書

可決

中小企業・小規模事業者は、大量の在庫確保や優先調達が困難であり、供給不足の影響を最も直接的かつ深刻に受ける。我が国の産業を支える中小企業・小規模事業者等の事業の継続を支援し雇用を守るため、緊急かつ重点的な対策が必要である。

■26年産米の暴落を阻止し、需給環境を改善するため、政府備蓄米の早期・確実な買い戻しを求める意見書

否決

9月定例会の議案の採決

件名		平野　千穂（共産）	吉田　俊一（共産）	鈴木　勉（社会）	長谷川真也（未来）	増田　秀雄（未来）	髙橋　昭男（自ク）	川上　力（公明）	田口　義博（自無）	松岡　高志（チ無）	福井　和義（チ無）	佐藤　永子（自ク）	村上真由美（公明）	採決結果
【町長提出】														
議案第31号	松伏町公平委員会委員の選任について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第32号	松伏町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	松伏町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	松伏町こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	松伏町認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	松伏町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	松伏町土地開発公社の解散について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	令和８年度松伏町一般会計補正予算（第２号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	令和８年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	令和８年度松伏町介護保険特別会計補正予算（第２号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	令和８年度松伏町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	令和８年度松伏町下水道事業会計補正予算（第２号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	令和７年度松伏町一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第44号	令和７年度松伏町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第45号	令和７年度松伏町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第46号	令和７年度松伏町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第47号	令和７年度松伏町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
【議員提出】														
発議第７号	「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	可決
発議第８号	中小企業・小規模事業者等に対する事業継続支援を求める意見書	○	◎	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
発議第９号	２６年産米の暴落を阻止し、需給環境を改善するため、政府備蓄米の早期・確実な買い戻しを求める意見書	◎	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	否決

（○＝賛成、●＝反対、退＝退席、欠＝欠席、◎＝提出者）
（会派名）自ク＝自民クラブ、自無＝自民無所属の会、チ無＝チェンジ松伏・無所属クラブ、未来＝未来クラブ、公明＝公明党、共産＝日本共産党、社会＝社会正義クラブ

委員会報告　見る・聞く・動く

総務産業常任委員会　所管事務調査

土地利用検討エリアや産業集積地域の現地を視察

松伏町では、雇用の創出と税収の確保、地域経済の活性化を図ることを目的に企業誘致が進められている。

総務産業常任委員会では、現在、企業誘致が検討されている土地利用検討エリア（上赤岩鎌田地区）や産業集積地域（松伏工業団地拡張地区）について、７月 30 日の午前中に所管事務調査を行った。

役場第二委員会室にて担当課職員からの説明を受けたあと意見交換を行ったうえで、企業誘致が検討されている区域の現地視察を行った。

特に、土地利用検討エリア（上赤岩鎌田地区）については、令和７年６月１日に開通した国道４号東埼玉道路の一般部に隣接した区域となり、商業系施設と物流系施設を組合わせた土地利用を基本に計画され、民間事業者による土地区画整理事業での整備が検討されている。



文教民生常任委員会　所管事務調査

小・中学校及び社会教育施設等に関する調査

小学校、中学校、給食センター、公民館や B&G 海洋センター体育館など教育施設について、老朽化に伴う修繕事業の状況、今後の課題について調査を行った。８月４日、教育総務課長、教育文化振興課長など職員から説明を受けた。

学校のプールで修繕の必要な場所が相次ぎ、松伏第二中学校では令和８年度、体育でのプールの授業を中止した旨の報告に、複数の委員から質問があった。教育委員会では、学校と今後のあり方について協議を進めていく予定。

また大規模改修などの事業実施は、町全体の事業の順位付けもあり、教育委員会だけではなく、町全体として考える課題になっていると説明があった。



一般質問の会議録全文は
町議会ホームページから検索できます

町政に関する
一般質問の主題

田口　義博
- ○もっと、音楽を身近なものに
- ○交通空白と地域公共交通の役割について

長谷川　真也
- ○学校給食の今後のあり方
- ○中学校部活動の現状と今後
- ○防災備品について

村上　真由美
- ○ペットと安心して暮らせるようにペット手帳の導入について
- ○終活支援の充実について
- ○不育症への理解を深める教育について
- ○まつぶし生活応援給付金とデジタル化推進について

川上　力
- ○ゆたか保育園前町道の道路冠水対策推進を
- ○自治会活動の維持･活性化に向けた支援の創設を
- ○公平で持続可能な下水道事業の運営について
- ○防災力強化総合交付金を活用しトイレカーなどの整備推進を

福井　和義
- ○町を活性化する新しい都市計画

増田　秀雄
- ○公共交通の課題とこれまでの取組みについて
- ○中小企業の育成･振興について
- ○松伏町における今後の防災対策について

松岡　高志
- ○誰一人取り残さない防災体制の構築について
- ○通学路･生活道路沿い排水路周辺の環境整備について
- ○不法投棄撲滅に向けた先進技術の活用と体制の強化について

平野　千穂
- ○B&G海洋センターへの早期エアコン設置、プールを水泳授業で利用することについて
- ○わかば公園交差点にある一灯点滅式信号機撤去に伴い、安全対策を
- ○介護サービス利用料の補助制度新設や訪問介護事業所支援など町独自の支援と次期介護保険事業計画策定の進め方について
- ○埼玉筑波病院の送迎バスを活用した高齢者の移動支援について

吉田　俊一
- ○中東情勢に伴う原油やナフサ高騰により、資材供給停止など建設事業者への深刻な影響に対する対策を
- ○県と市町村による国民健康保険共同運営に関する議論について
- ○県道越谷野田線における歩道や自転車走行部分の改善について

9人の議員が町政を問う



田口（たぐち）　義博（よしひろ）
（自民無所属の会）

Q 公共交通空白解消に向けた取組は
A 混乗で空白解消に向け努力する

問 国が進める地域未来戦略の中に豊かな生活環境の実現に、持続可能な生活インフラの実現として公共交通がある。全国の自治体に対し、交通空白を無くすため2027年度迄の３年間に解消に向けた取組を準備し2030年迄に解消するとして周知した。町は空白解消への取組状況をどのように報告しているか。回答した自治体は98％に。

答 課長　交通空白のリストアップ調査では築比地地区の一部及び金杉地区の一部を報告している。

問 地域公共交通に求められる役割と価値の見解は。

答 課長　町民の日常生活を支える重要な移動手段。車を運転できない高齢者や学生をはじめ移動に制約のある方の生活を支える暮らしの基盤である。

問 町の地域公共交通計画初年度の事業と評価は。

答 課長　計画には３つの基本方針がある。それぞれに評価指標と目標値を設定している。路線バス利用者数は減少しているが、利用状況はおおむね維持されている。

問 高齢者タクシー等利用助成金経費は一般会計予算の何パーセントか。人口規模で0.3％が適正。

答 課長　一般会計当初予算額の0.13％程度。0.3％程度の財源確保には８年度当初予算編成時にも予算不足が生じ、厳しい財政状況にある。

問 デマンドタクシーなど方法がある。どの事業に。

答 町長　混乗がある。関係機関と協議し努力する。





【混乗】同じ乗り物に、異なる目的や立場の人が一緒に乗ること。



長谷川（はせがわ）　真也（しんや）
（未来クラブ）

Q 給食センターの年間経費は
A 約３億7,000万円

問 給食の広域化についての考えを問う。

答 **副町長**　２時間以内での給食の提供を含めた民間事業者の活用を調査・研究している。令和９年度からの５か年を調査期間とし、近隣市町で給食センターの建て替えの検討があるかといった点も細かく調査し、栄養価が高く、満足度の高い給食の提供が引き続き行えるように調査・研究する。

問 給食費完全無償化にするために都市計画税の導入も考えるべきだと思うが町長の考えを問う。

答 **町長**　社会経済情勢なども踏まえ、慎重に検討していく必要があると認識している。

問 防災協定を結んでいる自治体もしくは、町と同等の規模の自治体と防災備品の期限切れになる備蓄品の分散化について問う。

答 **課長**　分散備蓄の効果は、どちらか一方が被災した場合も、他の備蓄拠点から供給できる可能性が高くなるとともに、物資を共同調達することで、購入コストの削減が考えられる。課題としては、災害の規模によっては、道路寸断等の要因により、備蓄品の輸送ができず、結果的に当町または協定先の自治体に備蓄品が届かず、発災後、速やかに避難者へ配る量が不足してしまうという事態が想定され備蓄品の分散化は、協定先自治体との調整が重要となり他の先進自治体との事例を参考に調査・研究する。



飲料水や非常食などを備蓄



村上（むらかみ）　真由美（まゆみ）
（公明党）

Q 飼育困難時にも使えるペット手帳
A ペット手帳の導入は調査・研究

問 高齢者の入院や事故など飼育継続が困難になった場合にも対応でき、費用もふるさと納税や企業、動物病院、ペット関連事業者などからの協賛・スポンサーを募る方法もある。ペット手帳の作成について町の見解を伺う。

答 **課長**　ペット手帳の導入については、ふるさと納税や協賛・スポンサーを募る方法も含め調査・研究を行う。

問 横須賀市のわたしの終活登録は、あらかじめ市に登録しておくことで本人が救急搬送された場合や亡くなった場合に、市が登録情報を関係機関へ提供する。町も導入を検討する考えはあるのか。

答 **課長**　社会福祉協議会が実施している「福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）」において関係機関が連携した新たな終活に関する支援策の導入を検討していきたい。

問 保健体育やいのちの安全教育の中で、不育症への理解を深める内容を取り入れる事について伺う。

答 **課長**　不育症をはじめ妊婦や出産に悩んでいる方の気持ちを考え行動がとれるよう指導する。

問 まつぶし生活応援給付金についてLINE申請と書面申請を合わせた最終的な給付件数を伺う。

答 **課長**　８月24日時点の給付人数は、LINE申請と書面申請を合わせて２万5,611人で給付率は、約93％となった。



越谷市で配布している「愛犬･愛猫 くらしの記録手帳」



かわかみ　つとむ
川上　力
（公明党）

Q トイレカーの整備推進を
A 有用性については認識

問 自治会が安心して活動を続けられる環境づくりについて町長の考えを伺う。

答 **町長**　令和８年４月から新設した地域安全課を中心に、今まで以上に自治会の皆様の声を伺いながら、先進自治体の事例を参考にし、自治会の皆様とともに自治会が安心して活動を続けられる環境づくりに努めてまいりたいと考えている。

問 公平な受益者負担及び下水道事業全体の一体的な経営の観点から、農業集落排水使用料についても公共下水道と同様の従量制による料金体系に見直しを検討すべきではないか。

答 **課長**　令和６年４月から公費に依存しない、いわゆる独立採算制による事業運営が義務付けされている。適正な料金体系への移行について調査研究していく。

問 政府が創設した防災力強化総合交付金の活用で、トイレカーなどを整備推進することを伺う。

答 **町長**　トイレカーなどの整備は、指定避難所における避難者の生活環境の改善や感染症対策に繋がるものであり、防災フェスティバル等のイベント時においても活用することができることから、有用性については認識している。

答 **課長**　トイレカーやトイレトレーラーを活用している自治体の事例、日頃の維持管理の状況等について引き続き調査・研究していく。



トイレカー(イメージ)



ふくい　かずよし
福井　和義
（チェンジ松伏・無所属クラブ）

Q 町を活性化する新しい都市計画
A 職住近接と核づくりの土地利用

問 町を活性化する新しい都市計画は、町民の意見を大切にして、町民が安心・安全に快適な生活が送れるように計画されなければならない。
また、松伏町は、首都圏30キロメートルにあるので、町の特色、魅力、活力を生かして、活性化する都市計画が必要である。
具体的には、
①松伏町は首都圏30キロメートルに位置し、公共交通機関を使って上野駅まで約60分。
②新しい市街化区域の拡張。
③コンパクトな都市規模を生かしたまちづくり。
これらの特色、魅力、活力を生かし「東京・日本橋に１番近いみどりのまち松伏に住んでみませんか！」と言える新しい都市計画が必要であると考えている。
町は、どのような新しい都市計画を考えているのか。

答 **町長**　町を活性化する都市計画については、新たな土地利用転換や持続可能なコンパクトなまちづくりを目的とした立地適正化計画の推進などが考えられる。現在、本町においては、松伏町第６次総合振興計画の土地利用構想における職住近接と核づくりによる新市街地区域の土地利用を推進しつつ、土地利用検討エリアについて、企業誘致などの土地利用を慎重に検討している。


都市計画をもとに建てられたゆめみ野



増田（ますだ）　秀雄（ひでお）
（未来クラブ）

Q 公共交通の課題と取組みについて
A 利用者の声を踏まえ制度を検討

問 公共交通の課題とこれまでの取組みについて。

答 **課長**　７月末時点の申請者数は、タクシー利用券1,004人、バス利用券1,255人、合計2,259人となっている。利用者からは「タクシー・バス両方に使いたい」「金額を上げてほしい」「区分をなくしてほしい」などの声をいただいている。今後も利用者や交通事業者の意見を伺いながら、持続可能な範囲で事業全体のあり方について検討していく。

また、デマンド交通については、乗務員不足や財政負担などを踏まえ、導入は難しい状況と考えている。

問 災害の激甚化や複合災害を踏まえた、今後の防災対策について。

答 **課長**　本町では、松伏町地域防災計画に基づいて、避難所の確保、備蓄品の整備、防災訓練の実施、関係機関との連携など、防災体制の整備に取り組んでいる。

しかし、近年の災害は激甚化、頻発化しており、想定を超える規模の災害や、地震と風水害が重なるような複合災害も想定される。今後も防災訓練などを通じて、対応手順や連携体制を充実し、災害の実態や、訓練等から得られた課題を踏まえて、防災体制の充実を図っていく。



バスは松伏町の大切な公共交通



松岡（まつおか）　高志（たかし）
（チェンジ松伏・無所属クラブ）

Q 不法投棄通報データのマップ化を
A データの活用手法を調査研究する

問 自治会加入率が低下する中、大規模災害時の避難所運営に不備が生じないかと懸念している。既存の避難所運営マニュアルでは、自治会未加入者の受入れや協力体制はどう整理されているか伺う。

答 **課長**　マニュアルでは、自治会加入の有無による受け入れや協力体制の区別はなく、全住民を受け入れる。町では令和５年度より避難所開設訓練を行うとともに開設手順書の整備を進めている。この手順書では、運営の主体である自治会や自主防災組織と地域住民が連携し、避難者全体で運営を確立する考え方を示し、対応していくものとしている。

問 京都市などの先進自治体の事例にならい、本町でもLINEを活用したスマホ町役場による不法投棄通報データをマップ化して、どこに不法投棄が多いのか可視化・分析し、今後の対策やパトロールに活かすべきだが、町の考えを伺う。

答 **町長**　町内においても、不法投棄のリスクが存在し、景観や環境への影響のみならず、地域の安全、安心にも関わる重大な課題であると認識し、本年１月からスタートした松伏町LINE公式アカウント、スマホ町役場による不法投棄の通報受け付けを始めた。早期発見、早期対応が重要であると認識し、これらを踏まえた効果的な対策の検討を進め、不法投棄の防止に努めていく。


町道路肩の不法投棄ゴミ



平野　千穂（ひらの　ちほ）
（日本共産党）

Q Ｂ＆Ｇセンターへエアコン設置を
A 必要性を認識し協議を進めている

問 近年の猛暑の中、利用者から早期のエアコン設置を求める声は多い。また熊本地震では、エアコン設置率の低さが避難所生活を困難にした大きな要因として問題視された。今年度からＢ＆Ｇ財団で、空調設置工事等に対し最大７千万円（助成率70％以内）の助成が新設された。Ｂ＆Ｇセンターへのエアコン設置の優先度、設置時期を問う。

答 **教育長**　エアコン設置の必要性を認識し、教育委員会として設置に向けた協議を進めている。

町長　教育委員会が所管する施設はＢ＆Ｇの他、小・中学校体育館への空調設備整備等、今後、検討が必要な多額の事業費を要する事業がある。まずは教育委員会内で、事業の必要性や事業費、財源等を踏まえた優先順位を整理し、その上で、町全体の財政状況や他の事業等を踏まえ検討する。

問 介護サービス利用料の補助制度新設や訪問介護事業者支援など、町独自の支援は検討できないか。

答 **課長**　介護サービス利用料の補助制度は、負担を軽減する全国一律の制度が既に設けられている。現時点では既存の公的制度で対応していく。訪問介護事業所等が昨今の物価高騰や人材不足等により経営が厳しいことは、町としても認識している。国の動向や事業所の実態等に注意しながら、関係団体と連携し、どのような支援が効果的か、調査・研究していく。

独自で介護保険利用料の減免・助成を実施する市町

春日部市・草加市・越谷市・吉川市・蕨市・戸田市・朝霞市・志木市・富士見市・さいたま市・伊奈町・嵐山町・川島町・杉戸町・美里町・神川町・上里町　など32市町

埼玉県社会保障推進協議会 資料データ(2025年度)



吉田　俊一（よしだ　しゅんいち）
（日本共産党）

Q 国保税値上げの運営方針見直せ
A 町として令和８年度は努力した

問 令和８年度は県内で国保税率の大幅値上げが相つぎ、共同運営が始まった８年前と比べ４人世帯で所得300万円のモデルでは約20万円の値上がり。町は現在、年間51万９千円だが、県内で国保税率の準統一される令和９年度の見込みは年間65万７千円。どう考えているのか。

答 **課長**　越谷市では、令和８年度は県が示す標準税率に合わせ税率改正が行われている。令和９年度には町も標準税率にあわせる。

資材高騰の影響を受ける建設事業者への支援を

問 石油由来の資材高騰、供給不安にある建設事業者へ加須市、川口市では独自の支援策を開始。松伏町でも支援策を取り組めないか。

答 **町長**　建設事業者だけでなく中小事業者向け支援策として、省エネ設備を導入する事業者へ支援を予定している。引き続き、注視していく。

問 県道越谷野田線の歩道や自転車走行部を改善してほしいとの声にどう対応するのか。

答 **町長**　修繕の繰り返しで車道部が高くなり、歩道との高低差が生じすりつけによる急勾配がある。側溝の蓋も小さな段差がみられ、高齢者やベビーカー、車椅子は通行しにくい状況と認識している。以前、吉田議員から改善要望をいただき、越谷県土整備事務所へその旨を伝えている。

2026年値上げが相次ぐ国保税 4人世帯モデルでの比較(単位円)

	4人世帯所得300万円での国保税比較				値上げ幅	
自治体名	2026年度	順位	2025年度	2018年度	2025年比	2018年比
草加市	656,900	1	548,400	425,500	108,500	231,400
春日部市	656,200	2	561,200	476,000	95,000	180,200
越谷市	655,500	3	511,000	462,500	144,500	193,000
松伏町	519,900	53	508700	480,100	11,200	39,800

＊4人世帯モデル　大人2人40-64歳、子ども-中学生・高校生
＊埼玉県社会保障推進協議会　発表資料から抜粋
＊松伏町では子ども支援金分のみの改正でしたが、2027年予定の県内税率准統一時の標準保険税率（見込み）では65万7700円となる。

議会がもっと身近に！

一般質問の録画配信が始まりました！

松伏町議会では、町政に対する議員の一般質問について、10月1日から録画配信を開始しました。

議会当日に傍聴できなかった方も、ご自宅などから一般質問の様子をご覧いただけます。

町政について、議員がどのような質問をし、町がどのように答えているのか。ぜひ録画配信をご活用いただき、町議会を身近に感じてください。



あなたの暮らしに関わる質問、ぜひご覧ください。

視聴方法　**松伏町ホームページから**

町ホームページの「松伏町議会」ページからご覧いただけます。

こちらから
ご覧いただけます。

傍聴・感想ありがとうございました

傍聴者の声（抜粋です）

議会を傍聴した感想

- 傍聴者が少ないのが残念です。生徒の授業などに取り入れられないか。
- 議員の質問に対し、執行部の答弁は細部にわたり丁寧な説明でした。
- 町で起きている現状について深く知ることができた。今後も関心をもって町行政をみていきたい。
- 初めて傍聴して興味深かった。思っていたよりも内容が町民の生活に直結していたので町議会の重要さがわかった。
- ビデオ録画による公開が始まるようです。多くの方に興味をもってもらえる機会となれば良いですね。

議会だよりを読んだ感想

- 大変わかりやすくまとめられていました。参考にしやすいです。
- 紙面がすっきりしていて読みやすい。
- 「議員出前講座」や議会映像の録画配信は、いい取り組みと思う。
- 表紙がカラーで子どもたちの写真が多数写っており、将来に向けた議会の取り組みが伺えます。
- かわいい子どもたちの表紙で、子育て支援に力を入れていることのアピールのように感じました。表紙が良いと手に取って読みたくなりますね。

9月定例会・傍聴者数

9月1日	3名
9月3日	6名
9月4日	8名
9月9日	3名
9月11日	4名
9月15日	4名
9月16日	2名
9月18日	2名
9月25日	2名
合計	34名

令和8年12月定例会の日程（予定）

令和8年12月4日(金)
～12月14日(月)
詳細は議会運営委員会で決定後、お知らせします。

令和８年熊本地震義援金に関するご報告

このたびの「令和８年熊本地震」により、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

町議会では、被災地の一日も早い復旧・復興を支援するため、議員全員の総意のもと、義援金として６万５千円を令和８年９月８日に被災地に送金いたしました。

議員一同、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

編集後記

前号から表紙に「まつぶしっ子」と題して町内在住のお子さんたちを多く載せ、ご覧になった方々から好評をいただいています。議会広報発行特別委員会では、今後も、幅広い世代に読んでもらえるよう、親しみや理解が深まり、伝わる「紙面づくり」への創意工夫を重ねていきます。　平野　千穂

発行　松伏町議会
住所　〒343-0192　埼玉県北葛飾郡松伏町大字松伏2424番地
編集　議会広報発行特別委員会　048(991)1810(直通)

議　長　砂川　清時
議会広報発行特別委員会
委員長　川上　力
副委員長　平野　千穂
委　員　髙橋　昭男
委　員　長谷川　真也
委　員　松岡　高志
委　員　田口　義博
委　員　村上　真由美